

善徳寺有縁のみなさまへ

善徳寺住職 山村圭司
仏教婦人会会長 山村公子



善徳寺だより

二〇三号

仏教婦人会法座のご案内

新年を迎え、大変に寒い日が続いておりますが、みなさまにはご健勝にてご送日のことと拝察いたします。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、下記のように仏教婦人会法座を勤修いたします。二日目昼席では、昨年より往生された会員のみなさまを偲びつつ追弔会を勤めます。女性の方も、男性の方もどうか御参拝、お聴聞くださいますようご案内申し上げます。

合掌

日時 2月23日(木) 昼席 13:30~15:30

夜席 19:30~21:30

2月24日(金) 朝席 9:00~11:00

昼席 13:30~15:30 (途中総会)

ご講師 森田義見先生 (山口県下松市 勝賢寺)

追弔会を2月24日(金)昼席13:30より勤めます。

先にお浄土へ往生された会員5名(12月末)を偲び、念仏申しましょう。

- ①「しんじんのうた」(1日目昼)、「正信偈」(1日目夜)、「正信偈」(2日目朝)、「阿弥陀経」(2日目昼)をお勤めし、「領解文」を称え、「恩徳讃」を歌います。予習しておいてくださいね!



- ②仏教婦人会では活動にご協力、ご参加くださる方を募集しています。年会費500円。帳場に申し出ください。一人でも多くの方が入会くださると輪が広がり活動もさらに活発になります。

住職のつとめ

新年を迎え、心あらたに法務に邁進してまいりましたが、風邪をひいてしまい御門徒の皆様には、ガラガラ声で大変にご迷惑をおかけしました。

年末より、気分、体調も良く過ごしておりましたが、このような落とし穴があるとは。みなさまも、どうぞお身体の調子にお気をつけてください。

さて、年末にかけて気分が良かったというのは、報恩講にお参りに行く先々で、お仏壇を正しく美しくお飾りされたお宅が多かったからです。

毎年年末には、この便りにて正しいお飾りをお知らせしております。例年ですと正しい莊嚴のお宅は半分を切るぐらいの割合ですが、どうしたことか今年は何んと八割超。お参りするものが、途中から楽しくなってきました。

「お仏壇の莊嚴は心の表れ」ともいいますが、当家の参りに臨む姿勢も同時に感じられて、仏徳讃嘆の気持ちで清々しくお参りできました。

願わくは、報恩講を地区内外すべての御門徒さんのお宅で勤められたらと思っております。報恩講は、浄土真宗を信仰される方の、勤めといわれます。形だけの門徒でなく、信仰の伴う門徒であっていただきたいと思えます。



年末年始のお寺

除夜の鐘には、例年のごとく二〇〇名を超える方々がお越しくださいました。年々、年配の方の姿は少なくなり、若い方の姿が増えているように思います。帰省にあわせて、毎年のように顔を出してくださいの方が多

いです。年明けの修正会には、五〇名のお参りがありました。帰省のお子さん家族を連れて、また遠方よりわざわざお越しくださる方もいらっしゃいます。ようこそそのお参りでした。ありがとうございました。

ありがたい

極寒の中の参拝、お聴聞

その尊い姿は宝物

さる一月十二、十三日と御正忌法座を勤修しました。御正忌とは、親鸞さまのご法事の事で、今年は七百五十五回忌でした。

このご法縁にお招きしたのは、山口県美祢市の明厳寺の中島昭念先生です。八十歳を超えておられますが、布教への情熱は赤々と燃え続け、全国を飛び回る生活をされています。「どう生きるか親鸞聖人から学ぶのです」とおっしゃいました。

平均寿命が五十歳を切る時代に、九十歳まで生きられた聖人は、生老病死を抱えながら日暮しの中で何を思われ過ごされたのでしょうか？

「凡夫というふは、無明、煩惱われらが身にみちみちて、欲もおほく、瞋り腹たちそねみ、ねたむ心多く間(ひま)なくして、臨終の一念に至るまで、とどまらずきえず」といわれます。強烈な文言です。目先の事にこだわらず、ごまかさず、それゆえ念仏の大道を生き抜かれたのでしよう。



さて今回の参拝者は、前回の報恩講ほどの参拝者数ではありませんでしたが、極寒の中、朝、昼、夜と熱心にお参りくださいました。このご門徒の熱心なお姿に、いつも頭が下がります。御参拝、お聴聞ありがとうございました。



夜席には、大ローソクで親鸞さまの前をお荘厳。そして、御伝鈔の拝読をいたしました。聖人の御臨終の場面です。

さらに、仏仕の有志の方が、夜席にあわせて、境内を沢山のローソクにてお飾りくださいました。「幻想的でとても良かった」。夜席の楽しみが増えました」と大好評でした。早くからの準備ありがとうございました。何かと豪華な夜のお参りでした。

ところで「自分がなにより大切だ！」と言いながら、自分の事が聴けぬ人の多い事。聴聞する人は、逃げる事なく自分の事を聴いています。老、病、死へまっしぐらな私の救われる道とは？老、病、死から目を背け、その時だけの楽しき事ばかりへ逃げておられては、どうにもなりません。肝心な自分が、不完全なのですから、一刻も早く、お聴聞いただけたらと思います。

中島先生には、次回三年後の御正忌をお願いしておきました。その際に、先生の予定表を見えますと、すでに数件のお約束が入っていました。

(合掌)



ママ住職さんのコーナー

このお正月には、岡山県の池田動物園に行ってきました。皇室の池田厚子さまゆかりの動物園です。とはいえ、建物はレトロで、道は急な坂が多い、昭和の香りがする園でした。この動物園で暴れたのが、ママ住職さん。寒さに怒り、急な坂に激怒しまくりでした。可愛いシマウマや合間の写真コーナー(←)では機嫌をなおすものの、全般にローテンション。



これは、アメリカンバイソン(巨大な野牛)の傍でインディアンの娘になりきるママ住職さん。

これは(↓)クモザルを楽しむママ住職さん。ちょうど赤ちやんクモザルがおり、いい勝負!



結局、一番喜んだのは、園内入ってすぐにあった、シャボン玉マシーン。絶え間なく作られるシャボン玉をよその子と一緒に、おつかけておられました。この園、レッサーパンダや白ライオンもおり、住職的には好きな雰囲気でした。また、御機嫌をとり再訪したいものです。

さて、長年愛読いただいた「ママ住職さんのコーナー」は、ママ住職さんの幼稚園入園に伴い今回で終わりになります。長い間ありがとうございました。代わりになるコーナーを考えています。お楽しみに!